

科目		産業動物学		
担当講師 本田公三				
実務経験有 獣医師免許 大学卒業後地方自治体において動物園、公衆衛生分野に勤務				
開講年次		授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科 2年次前期後期(前半7回)		講義	必修	45
授業目標 産業動物の歴史や品種、飼育管理法および畜産業等社会との関わりについて理解を深める。				
授業概要 家畜化の歴史人との関わり、牛、馬、豚、山羊、羊、鶏等の品種と飼養管理法について学ぶ。				
成績評価の方法 評価の基準は筆記試験による。また本科目受験には出席率が3分の2以上であることが必要。試験は80～100点がA評価、70～79がB評価、60～69までをC評価とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし評価はCとなる。				
教 材 動物の行動と健康管理 P76～P119 (ファームプレス) 講師配布資料				
授業計画 毎週月曜日 2限目 9:10～10:40				
回	テーマ	授業内容		
1	家畜とは何か			
2	産業動物－畜産学概論、	畜産学の概論		
3	馬の歴史と品種、特徴	馬の進化と歴史、解剖学的特徴等について学ぶ		
4	馬の歴史と品種、特徴	馬の進化と歴史、解剖学的特徴等について学ぶ		
5	牛の歴史と品種と特徴	牛の進化と歴史、解剖学的特徴等について学ぶ		
6	牛の歴史と品種と特徴	牛の進化と歴史、解剖学的特徴等について学ぶ		
7	緬羊・山羊の歴史と品種、特徴	緬山羊の進化と歴史、解剖学的特徴等について学ぶ		
8	豚の歴史と品種、特徴	豚の進化と歴史、解剖学的特徴等について学ぶ		
9	鶏の歴史と品種、特徴	鶏の進化と歴史、解剖学的特徴等について学ぶ		
10	飼育管理法～反芻動物の消化器と機能	反芻動物の消化器と機能について学ぶ		
11	飼育管理法～馬の消化器と機能	馬の消化器と機能について学ぶ		
12	飼育管理法～豚の消化器と機能	豚の消化器と機能について学ぶ		
13	飼育管理法～鶏の消化器と機能	鶏の消化器と機能について学ぶ		
14	各家畜の性周期と繁殖整理 確認テスト	まとめ		
15	飼養管理法～繁殖	子宮、胎盤、卵巣の形状の違い		
16	飼養管理法～飼育施設	飼養形態と施設		
17	飼養管理法～健康管理	給餌法、搾乳方式		
18	飼養管理法～家畜伝染病予防法	健康管理 (TPR、BCS)		
19	日本の畜産業の実際	酪農業		

20	日本の畜産業の実際	牛肥育業、養豚業
21	日本の畜産業の実際	養鶏業